

議会
だより

ふくしま

(題字：福島商業高等学校 3年 塚田 良さん)

第146号

令和7年6月1日発行
福島町議会



今号のポイント

- ✓ 町民懇談会で出た「議会改革」への声 2ページ
- ✓ 今年の予算、町のためにどう使われる？ 10ページ
- ✓ 議員の目で見た町の課題（常任委員会） 17ページ

ふくしま

3年 田畑 斗羽さん

議会HP



意見質問
フォーム

こちらの二次
元バーコード
はご利用いた
だけません

町民と議員との 懇談会

まちの「いま」と「これから」を語る

町民の声から見えた課題と、 議会の対応は？

今年度の「町民と議員との懇談会」は、2月3日から6日間、全17会場で開催し、
77名の町民の皆さんにご参加いただきました。

今年の懇談会では「議員のなり手不足」と「議会改革」に重点を置き、町民の
皆さんの率直な意見を伺いましたが、その他にも地域の将来や暮らしに関わる様々
な声をいただきました。

■町民の意見から見えた3つの課題

今年の懇談会で重点を置いた「議員のなり手不足」と「議会改革」について、
様々な意見が寄せられました。そこから見えてきた3つの課題を紹介します。

1. 議員のなり手不足

若い世代や女性が議員にならない理由とは？

2. 議会改革

町民にとってもっと身近な議会へ

3. 報酬・定数

増やす？減らす？町民の本音



1. 議員のなり手不足

議員になりたくても

仕事との両立が難しい。



活動日数が多い。

今の仕組みでは、
若者や女性が参画しづらい。



家族の理解が必要。



同性の協力がないと、

女性ひとりでは難しい。



🔍 議会の考え

- ・議員の活動を見てもらうためにモニター制度を検討。
- ・柔軟な活動スタイルの導入も議論が必要。

➡議員活動の見える化や支援のあり方など、多様な人が関われる議会に向けた検討を進めていきます。

2. 議会改革

議会に
興味がないのでは？



議会は難しい

という印象があるのでは？



🔍 議会の考え

- ・町民と議会との距離を縮める方法が今後の検討課題。
- ・議会報告の方法も改善が必要。

➡情報発信や意見交換の場のあり方について、柔軟な対応を模索していきたいと考えています。



3. 報酬・定数

若い人たちが
入れる道を残す。



人口が減っているのに
議員定数は
そのままでもいいのか？

地域の声を聴いてもらっている。

人口減＝議員を
減らせとは
ならない。

報酬が低いから、
なり手がいないのでは？



🔍 議会の考え

- ・現在の定数を維持すべきか検討する必要がある。
- ・報酬についても議論が必要。

➡ 「少人数でも機能する議会のあり方」 と 「なり手を増やすための条件」 のバランスを考える必要があります。

■まとめ

「町民と議員との懇談会」は、町民の声を直接聞き、議会のあり方を考える貴重な機会です。今年は「議員のなり手不足」と「議会改革」に焦点を当て、多くのご意見をいただきました。

議会では、いただいたご意見をもとに、より町民の皆さんにとって身近で開かれた議会を目指し、改革を進めていきます。

🗨️ あなたの声も聞かせてください

右記の二次元バーコードを読み込むと、議会宛ての意見・質問フォームに繋がります

こちらの二次元バーコードはご利用いただけません

📖 議会ガイド



📖 用語集



町政70周年に向けて 新年度予算を原案通り可決

町議会定例会

3月会議

詳しい資料はこちら



定例会3月会議は3月11日に開会、町長・教育長から、令和7年度の執行方針が示された後、議案39件、諮問2件、同意8件、発委1件を審議し、いずれも原案通り可決、13日に休会しました。参画者は9名でした。(内、夜間議会8名)
※予算審査の内容は予算審査特別委員会のページに掲載しています。

条例の制定

犯罪被害者等見舞金支給条例

国の犯罪被害者等給付金は申請から支給まで1年程度かかることから、町が速やかに見舞金を支給することで、被害者・遺族の生活安定と精神的負担軽減を図るため。

条例の一部改正

旅費宿泊料の改正に伴う 関係条例の整理

近年の物価高騰等により、現行規定の金額では対応できない場合が生じていることから、宿泊料を増額改定し、甲乙区分を調整(甲区分の拡大)、宿泊料の実費相当額支給を可能とするため。

職員の勤務時間・休暇等条例、 育児休業等条例の一部改正

介護離職防止を目的として仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい勤務環境を整備するため。

職員給与条例の一部改正

職員の給与に関する法律の公布に伴い、条例の一部を改正。

国民健康保険条例の一部改正

国の法改正に合わせた条例改正。※R6年度までは道の標準保険税率比50%を反映してきたが、今回からは100%反映する。

奨学金条例の一部改正

連帯保証人を立てることが困難な事例があることから条件を緩和した。

- ・連帯保証人2人↓1人

小笠原実奨学金基金条例 花田俊勝奨学金基金条例 の一部改正

連帯保証人を立てることが困難な事例があることから条件を緩和した。

- ・保証人2人↓1人
- ・保証人↓連帯保証人



役場1階ロビーでも議会中継を放送しています

管理経費高騰の状況を考慮し、氷の販売価格を増額（漁業者は今まで通り）。

◎1トンあたりの単価

区 分	金 額
変更前	10,000円
変更後	15,000円



議会の声

R6.8.29 経済福祉常任委員会にて、管理経費高騰の状況を考慮し、氷の販売単価増額を検討するよう提案しました。



条例の廃止

チャレンジスピリット応援条例の廃止

がんばる地元企業等応援条例から継続した延べ8年間の支援により、地域振興に一定の成果があったと判断したため（経過措置あり）。

計画決定

森林整備計画の策定

道が策定した渡島檜山地域森林計画との整合性を図るため後期5か年を勘案した内容とするため。

第3期人口ビジョン・総合戦略

第4期地域福祉計画

第3期子ども・子育て支援事業計画

令和7年3月31日で現計画が終了するため、次期計画を策定。

計画変更

第6次福島町総合計画の変更

事業の追加や変更により、計画の一部を変更（新規5件、変更42件）。

◎追加、変更となった事業の一例

単位：千円

区 分	金 額
変更前	4,836,500
変 更	433,200
変更後	5,269,700

芸 能 鑑 賞 事 業 (町政施行記念行事)	500万円
記 念 事 業 補 助 (町政施行記念行事)	400万円
ファミリースポーツ公園改修事業 (パークゴルフ場のグリーン芝張替)	930万円
福島保育所改修事業	1億1,140万円
防災減災対策事業 (トイレカー等の購入)	7,860万円



福島保育所改修工事にあたり、経済福祉常任委員会で視察



建築から23年が経過し、老朽化が目立つ

議決更正

青少年交流センター増築工事の内建築主体工事請負契約の議決更正

渡り廊下サッシ変更、1階トイレ・管理入室等の設備追加、工期延長による経費増加。

青少年交流センター増築工事の内機械設備工事請負契約の議決更正

ガスボンベ庫新設、貯湯タンク仕様変更、工期延長による経費増加。

単位：千円

区分	建築主体 金額	機械設備 金額
変更前	174,020	65,560
変更	6,611	4,334
変更後	180,631	69,894

補正予算

不用となった予算の減額等を行い、次の通り補正。

単位：千円

会計名	補正額	補正後
一般会計(第9号)	▲ 163,510	4,609,484
国民健康保険特別会計(第3号)	▲ 32,667	661,521
介護保険特別会計(第4号)	▲ 38,793	559,053
後期高齢者医療特別会計(第2号)	▲ 1,868	77,277
国民健康保険診療所特別会計(第3号)	▲ 1,899	121,692
水道事業会計－収益的支出－(第3号)	▲ 1,760	107,090
水道事業会計－資本的支出－(第3号)	▲ 22,816	82,820
浄化槽事業会計－収益的支出－(第4号)	▲ 4,199	34,372
浄化槽事業会計－資本的支出－(第4号)	▲ 1,451	36,237

同意・諮問

固定資産評価審査委員会委員の選任

・石倉正史氏

農業委員会委員の選任

・佐藤孝男氏
・本庄喜美雄氏
・今井隆氏
・久野蔵氏
・山本幸子氏
・花田妙子氏
・菅藤光男氏

人権擁護委員の推薦

・金谷栄一郎氏
・工藤泰氏

積立金の処分

財政調整基金積立金の処分

令和7年度一般会計予算の財源として繰り入れ支消する基金の限度額を4億円以内としました。

議会からの提出議案

議会議員歳費・費用弁償等条例の一部を改正

近年の物価高騰等により、現行規定の金額では対応できない場合が生じていることから、宿泊料を増額改定し、甲乙区分を調整(甲区分の拡大)・宿泊料の実費相当額支給を可能とするため。



一般質問



【一般質問】町の様々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

最近、保育所・幼稚園の子供たちが公園や外で過ごす時間が減っていると感じる。公園では遊具が減少し、それに伴い子供たちの心身の発育や運動能力、危険察知能力の低下が懸念される。安全な遊び方を教えながら、子供の好奇心と運動能力を育むため、公園や保育所・幼稚園の遊具の整備・メンテナンスについて、町長の考えを伺う。

動画は
こちら



子育て

問

子供たちに安全で楽しい遊び場を！遊具の整備は？

答

遊具は成長を支える大切な存在。施設ごとに順次対応中。

鳴海町長

遊具は子供の成長に欠かせない一つのツールと認識しております。新緑公園は遊具の更新を完了し、他の公園も老朽化した遊具を更新するなど適切な管理に努めております。保育所の遊具は令和7年度に更新予定です。幼稚園の遊具は事業者が管理するものと考えておりますが、施設運営に対して町から子育て支援補助金等を交付しており、今後も支援してまいります。



熊野 茂夫議員

- ① 福島商業高校の入学増の要因を調査・分析しているか。また、今後の魅力化策について伺う。
- ② 小・中学校の校舎改修が必要ではないか。特に福島小学校南校舎の改修を機に、小学校統合や小中一貫教育校を検討されてはどうか。
- ③ 福島商業高校以外の進学者にも奨励金等の支援を行うべきではないか。

動画は
こちら



教育

問

高校入学者増の要因は？
小中学校校舎の改修は？

答

住環境の良さと在校生のPR。
小中学校は将来見据えて検討中。

小野寺教育長

- ① 住環境の良さや特色ある学習活動、在校生のPRなどが評価され、入学増に繋がったと分析しております。
- ② 福島小学校南校舎は改修協議中。義務教育学校の調査研究も予定しています。

鳴海町長

- ③ 入学奨励金は高校存続のために町独自で行った施策であり、他校進学者への支援は考えておりません。



動画は
こちら



行財政

問

町政の見える化と
デジタル化推進の人材確保は？

答

町民への周知を強化する。
デジタル人材育成に努める。

平沼 昌平議員

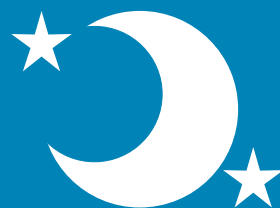
町政執行方針では、第6次総合計画や第3期人口ビジョンに基づき、産業支援や子育て支援、福祉、災害対策、デジタル化推進などを進めるとしている。

- ① 町施策の進捗状況を広報などで町民に具体的に伝えるべきであり、自助・共助の役割を具体的に示すべきではないか。
- ② 当町として、デジタル化推進に向け人材確保や育成の必要性をどう考えるか。

鳴海町長

- ① 町政執行方針や総合戦略の進捗と評価については、今後ホームページ等で町民にわかりやすく周知していく予定です。自助・共助・公助のあり方についても、懇談会や防災訓練などの場で具体例を交えた説明を行ってまいります。
- ② デジタル化は人材確保が難しい状況ですが、国や道の支援制度や、民間との連携を活用し職員の育成に努めてまいります。

夜間議会への参画 ありがとうございました



3月11日午後6時から開催された夜間議会では、町民の皆さんが議場を訪れてくださり、議員からは「普段以上に緊張感をもって議論に臨むことができた」、「関心を持っただけありがたい」などの声がありました。



参画者席は議員席のすぐ後ろにあります

令和7年度 予算審査 特別委員会

詳しくは
こちら



予算総額61億9,941万円

3月12日から13日の2日間にわたって令和7年度会計の予算審査特別委員会が行われ、4つの特別会計・浄化槽事業会計・水道事業会計を含む予算議案を可決しました。

※金額は四捨五入表示。

※問・答は、内容を要約し、全体から抜粋したものを第6次総合計画のまちづくり項目の順番で掲載しています。

産業を活性化し、
地域資源を活かす

まちづくり

●水産業の振興

問

アワビ種苗を供給している企業が山火事の影響で深刻な被害を受けたと報道されているが、今年度の種苗調達や今後の対応は。

(藤山議員)

答

状況は非常に厳しいと認識しているが、正式な返答を受けた後に方向性を決める予定。令和7年度は例年通り5万個の種苗購入を想定しているが、今後の協議次第で判断する。

次世代を育成し、
つながり、学びあう

まちづくり

●体育施設

問

町民プールは数年前から午前利用が制限されているが、土曜日や夏休みに利用したいという声がある。金・土・日だけでなく午前開館するなど、柔軟な対応はできないか。

(木村議員)

答

コロナ対応と利用実績の低下、経費削減を理由に午前利用を中止しており、現在は午前を学校利用に充てている。午前開館を求める声もあるため、夜間利用の調整や部分的な午前開館の試行を含め、今年度中に対応を検討したい。

●子育て

問

「出産子育て応援交付金」と「妊婦支援交付金」の事業があるが、一本化されると聞いた。分かりやすい支援制度に整理されるのか。

(平沼議員)

答

「妊婦支援交付金」は町の単独事業として実施してきたが、国による新たに出産・子育て応援交付金が創設され、出産前後に5万円ずつ、合計10万円が支給される。町が行っていた支援も含まれており、令和7年度は移行の経過措置として2事業体制をとるが、8年度からは一本化し、対象者にとっても分かりやすい制度となる。



**福祉・医療が充実し、
互いを認め合える
まちづくり**

●吉岡温泉

問

吉岡温泉の入浴料は、一般400円、高齢者150円となっている

が、喜ばれる一方で「安すぎて申し訳ない」という声もある。今後、見直しの考えは。

(藤山議員)

答

高齢者に安価で温泉を利用してもらうのは健康寿命を延ばす重要な施策であり、結果的に医療費の削減にも繋がる。

利用回数が減ってしまうような値上げは避けたいと考えており、現制度は今後も維持したい。

●高齢者福祉の充実

問

高齢の独身者を対象とした調査はいつ・どのように行っているのか。人数の推移や、調査後のフォロー体制、個人情報管理についても確認したい。

(小鹿議員)

答

調査は平成21年から継続実施しており、高齢独身者は令和7年1月時点で673人となっており、年々増加傾向にある。

フォロー体制としては、社のヘルパーが定期訪問し、生活状況や変化を把握・対応している。

個人情報、本人同意の上で使用しており、災害対応などにも活用されている。

問

100歳に到達する方が多く見受けられる。当町では100歳に到達した方に対していくらかお祝いを差し上げているのか。また、近隣町の状況も併せて確認したい。

(杉村議員)

答

当町では、100歳到達の方に10万円を贈呈している。近隣の状況については、松前町は、

10万円と花束、知内町は、3万円の商品券と花束、ケーキ、木古内町は10万円の商品券を贈呈している。

生活基盤が安定し、
安心安全に暮らせる
まちづくり

●水道

問

白符地区での道路横断配水管取替工事（約190万円）が行われるが、同様の老朽管取替工事をどの程度予定しているか。また、全国で道路陥没事故が発生しているが、町の水道管漏水はどのように把握しているのか。

（平沼議員）

答

白符地区では老朽管を使用しており、緊急性が高く今回の工事を実施する。他に、本町汐見町の国道付近など、老朽管のある地域が複数あり、状況を見ながら優先順位をつけ

対応していく。
漏水の検知は、衛星を使った方法もあるが、精度に問題があり、当町では、水道の流量変化から異常を見つけ、バルブの開閉などで範囲を特定する方法で対応している。



一人ひとりが協働し、
持続可能なまちづくり

●財政

問

今回、財政調整基金から4億円以内の金額を一般会計に繰

り入れ支消する。町長は10億円以上の水準を維持していかなければならないと言っているが、今後の財政調整基金の見通しはどうなっているのか。

（佐藤議員）

答

財調の残高は令和6年度末で約13億4千800万円の見込み。補正予算では約1億3千万円の取り崩しを予定しているが、実際には5千万〜8千万円程度に抑えられ、前年度の繰越金から3千万円を積み立てる予定で、最終的な残高は約13億1千800万円と見込まれている。

●広報

問

広報紙は町内会を通じて各戸に配布されているが、町内会ごとに活動状況や人手の確保

にばらつきがあり、現行の仕組みが実情に合っていないケースもあるのでは。状況に応じた柔軟な見直しが必要ではないか。

（熊野議員）

答

現在は町内会から推薦された連絡員が配布を担っており、おおむね順調に進んでいるが、町内会ごとの負担の違いや配布人材の確保の難しさも認識しており、町内会単位での委託など、より柔軟に対応できる方法を検討中であり、8年度からの改善を目指す。
配布頻度の見直しやペーパーレス化も併せて進め、負担軽減と情報伝達の効率化を図る。

令和7年度各会計予算総額

単位：千円

会 計 名			令和7年度	令和6年度	増 減	増減率(%)
一 般 会 計			4,524,254	4,125,128	399,126	9.68
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		662,170	682,918	▲ 20,748	▲ 3.04
	介護保険 特別会計	保 険 事 業 勘 定	521,132	563,702	▲ 42,570	▲ 7.55
		サービス事業勘定	1,639	1,625	14	0.86
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		79,873	82,055	▲ 2,182	▲ 2.66
	国民健康保険診療所特別会計		126,172	122,497	3,675	3.00
水 道 事 業 会 計			206,915	214,048	▲ 7,133	▲ 3.33
浄 化 槽 事 業 会 計			77,255	71,298	5,957	8.36
予 算 総 額			6,199,410	5,863,271	336,139	5.73

令和7年度 議会費の使い道

研修旅費増加等により
前年度より2,335千円の増額

単位：千円

区 分	令和7年度	令和6年度	概 要
報 酬	25,942	25,942	議員歳費、諮問会議委員報酬
給 料	14,834	13,425	事務局職員4名分（うち会計年度任用職員1名）
手 当 等	14,670	14,083	議員・事務局職員の期末手当
共 済 費	16,479	16,667	議員・職員共済費
報 償 費	100	100	専門的知見謝金（審査・調査）
旅 費	2,449	1,864	議員・事務局の出張に係る旅費ほか
交 際 費	200	200	慶弔費ほか
需 用 費	1,374	1,321	議会だより印刷製本費、消耗品費ほか
使用料・賃借料	1,236	1,230	ペーパーレス会議システム使用料ほか
負担金・交付金	1,646	1,763	各加入団体負担金、政務活動費ほか
合 計	78,930	76,595	* 町予算書では、事務局職員4名分の給料等が、「職員・会計年度任用職員給与費」に計上されているため、この表の予算額と一致しません。

災害発生時の避難生活環境改善のため7,600万円補正

定例会 3 月第 2 回会議は 3 月 24 日に開会、議案 1 件を審議し、原案通り可決、同日付けで休会しました。参画者は 0 人でした。

町議会定例会
3月第2回
会議

詳しくはこちら



補正予算

令和6年度一般会計補正
予算(第10号)

ふるさと応援基金費

企業版ふるさと納税実績見
込みによる増額。

1,000
万円

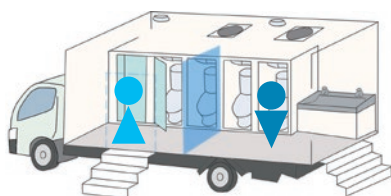
● 防災用資機材等整備事業
費

災害発生時の避難生活環境
改善のため大型トイレカー等
を購入するため増額。

7,600
万円

単位：千円

区 分	補正額	補正後
一般会計 (第10号)	86,240	4,695,724



自走式大型トイレカー (1 台)

災害時の衛生環境改善のため大型トイレカー購入

定例会 4 月会議は 4 月 17 日に開会、議案 3 件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付けで休会しました。参画者は 1 名でした。

町議会定例会
4月会議

詳しくはこちら



条例の一部改正

町税条例の一部改正

令和7年度税制改革大綱に
より、条例を一部改正。

財産取得

区 分	金 額
物品名	大型トイレカー 1 台
方 法	随意契約
金 額	32,744,470円
契約の 相手方	(株)北海道モリタ 代表取締役 岩村 純一

工事契約

区 分	金 額
工事名	白符テレビ中継局 耐災害性強化工事
方 法	随意契約
金 額	71,500,000円
契約の 相手方	(株)NHKテクノロジーズ 札幌総支社長 須賀川 豊

各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

3月会議採決の様子

会議名	議案番号	議 案	議 員 名								審査結果
			藤山 大	杉村志朗	佐藤孝男	小鹿昭義	平沼昌平	木村 隆	熊野茂夫	平野隆雄	
3月会議 (3/11)	40	犯罪被害者等見舞金支給条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	43	犯罪被害者等支援条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	44	職員の勤務時間、休暇等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	45	職員の育児休業等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	48	奨学資金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	49	小笠原実奨学基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	50	花田俊勝奨学基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	51	家庭的保育事業等設備・運営基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	52	特定教育・保育施設・特定地域型保育事業運営基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	53	指定介護予防支援等事業、人員・運営・指定介護予防支援等に係る介護予防の効果的な支援方法基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	54	地域包括支援センター包括的支援事業実施基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	56	水道布設工事監督者配置基準・資格基準、水道技術管理者資格基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	59	森林整備計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	60	第3期人口ビジョン・総合戦略の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	61	第4期地域福祉計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	62	第3期子ども・子育て支援事業計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	71	令和6年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	72	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	73	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	74	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	75	令和6年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	76	令和6年度水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77	令和6年度浄化槽事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	78	青少年交流センター増築工事、建築主体工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	79	青少年交流センター増築工事、機械設備工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	

会 議 名	議 案 番 号	議 員 名 議 案	藤 山 大	杉 村 志 朗	佐 藤 孝 男	小 鹿 昭 義	平 沼 昌 平	木 村 隆	熊 野 茂 夫	平 野 隆 雄	審 査 結 果
3月会議 (3/13)	41	旅費宿泊料改正に伴う関係条例の整理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	42	水道事業財務規程適用に伴う関係条例の整理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	46	職員給与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	47	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	55	製氷貯氷施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委10	議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	57	チャレンジスピリット応援条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	
	58	第6次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	70	財政調整基金積立金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	
	63	令和7年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	64	令和7年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	65	令和7年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	66	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	67	令和7年度国民健康保険診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	68	令和7年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	69	令和7年度浄化槽事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意2	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 同意	
同 意 3～9	農業委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○		
	諮 問 1・2	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 適任
3月第2回会議 (3/24)	80	令和6年度一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
4月会議 (4/17)	1	町税条例の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	
	2	財産（大型トイレカー）の取得	○	欠	○	○	○	○	○	○	
	3	白符テレビ中継局耐災害性強化工事請負契約の締結	○	欠	○	○	○	○	○	○	

議会HPで配信や資料を 見てみませんか？

議会HPにて各会議の生配信や、過去の会議資料・映像をご覧いただけます。なお、議会だよりの二次元バーコードをスマホ等で読み取り、HPの関係ページをご覧いただくこともできます。

ご意見、ご感想もお待ちしておりますので、議会事務局議事係までお気軽にご連絡ください。

■ : <https://www.town.fukushima.hokkaido.jp/gikai/>

✉ : gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

☎ : 0139-47-2215



議会HPへの
二次元バーコード





調査事件11

第3期福島町人口ビジョン・総合戦略の策定

— 2月14日調査 —

人口1,600人時代へ、足元の産業にも光を

町は、第2期計画が令和6年度で終了するため、令和7年度からスタートする第3期計画の策定を進めており、委員会ではその内容を調査しました。

●計画策定の基準数値を明確に

社人研推計や国勢調査など、様々な統計データを使用しているが、基準となる数値が分かりづらい点を指摘する。

前計画との比較検証に支障が出ないよう、極力、基となる統計データは変えずに使用するよう望む。

●地元木材活用による地元林業活性化

定住促進住宅など公共施設整備において木質バイオマスボイラー導入や地元材を積極的に使用し地元林業の活性化に繋げるべきと思慮するので検討されたい。

●機械化・省力化による地元農業の魅力化

農業には課題も多く、AI等の技術を活用した機械化・省力化を進め、活力・清潔感があり若者にとって魅力的な雇用の場を目指す農業法人の設立に向け積極的に支援されることを検討されたい。



この計画って何？

人口の減り方をゆるやかにしながら暮らしを支える仕組みを整えていくための指針です。

これからの人口減少を見据えたうえで、町の暮らしを守り、元気な地域を続けていくための計画。

町では、「若い世代が定住しやすい環境を整える」「仕事を増やす」「移住や観光で人との繋がりを広げる」といった取り組みを進めていこうとしています。

人口はどうなるの？

令和27年（20年後）

社人研推計	町的目標
1,602人	1,609人

※令和7年4月末の人口
3,350人

社人研って？

「国立社会保障・人口問題研究所」という国の研究機関。日本全国や市町村ごとの将来の人口を過去のデータをもとに予測している。

社人研の推計は「このまま何もしなければ、こんな風に減っていく」という見通し。



調査事件12

脱炭素社会の実現に向けた取組状況

— 2月25日調査 —

“森林と海”が鍵を握る脱炭素、実態把握と住民の理解が課題

町は、2050年度実現に向け「脱炭素戦略」・「地球温暖化対策実行計画」を策定し、脱炭素社会実現に向けた取組を進めています。委員会ではその内容を調査しました。

●実態が把握できているのか？

アンケート調査の回収率が低く、町内の実態を把握できているとは言い難いと推察する。実態分析が適切だったのか懸念される点を指摘する。

●森林、海洋保全による脱炭素推進

町の実態から一番実効性があるのは「森林、海洋保全によるCO₂吸収量の維持」と思われる。森林保全には、適切な管理が重要であるが、シカや害虫による被害が大きな問題となっているため、国・道と連携し適切な対策を望む。

●町民への周知PRの徹底

取組を進めるには、町民に計画の内容を理解してもらうことが重要だが、ごみ減量化・リサイクル運動の現況からも住民への周知は難しいと推察される。町内会や関連団体等へ計画の主旨を説明し、わかりやすい資料を作成し継続して周知・PRして行くことを検討されたい。



調査事件13

部活動の地域移行

— 2月25日調査 —

「やりたい」を諦めさせない体制づくりへ努力を

町は、部活動の現況や課題等について整理し、当町としての今後の部活動の在り方について検討を進めています。令和6年度取組状況について委員会ではその内容を調査しました。

●子供たちの選択肢を広げる体制を

拠点校方式で実施している部活動以外（団体種目のみならず個人種目も含め）の活動も選べる体制作りが必要。

「生徒の心身の健全育成」の観点からも、生徒の期待に応え、将来の可能性を伸ばす機会を提供する努力はすべきと思慮するのでさらに検討されたい。

●指導者の確保・報酬

指導者の確保に地域おこし協力隊を活用する方法もあると思慮するので検討されたい。

●生徒の移動手段・費用

保護者にとっては、大会以外の送迎負担が大きいため、四町で送迎バスを運行する等の体制作りが必要と思慮するが、各町との足並みが揃うまでは町単独で保護者の負担軽減に対応することも必要と思慮するので検討されたい。

拠点校方式って？

希望する部活動がない生徒が、他校の拠点校で活動に参加できる方式。福島、松前、知内、木古内の四町では、バスケットボール部（拠点：福島）と野球部（拠点：知内）で実施中。



調査事件14

岩部地区等活性化及び昆布養殖作業省力化に向けた取組状況

— 1月30日調査 —

岩部の再生と昆布漁業の再編へ

令和5年度に策定された当該構想・計画の令和6年度の取り組み状況について、委員会ではその内容を調査しました。

●岩部地区、無居住化への対応

火災により岩部地区が無居住となり、保安上の問題が懸念される。岩部クルーズに來訪する観光客の安全確保と併せて同地区の防犯対策について検討すべきと思慮する。

道道岩部線については、生活道路維持管理の重要度が低下することが懸念されるが、クルーズ観光の現状・今後の整備計画を充分説明し、現状どおりの対応を強く要望、交渉することを望む。

●展望台・河川の整備

展望台や、河川の整備は、優先度を下げるのではなく、総体的な構想として基本計画に登載し、早急に国・道と協議を始める必要があると思慮するので検討されたい。

●管理エリアの整備

クルーズ以外の滞在時間を延ばすことが今後の課題となっているため、休憩所や売店設置など多目的施設整備の早期実現に向け、財産所有者との交渉を進めるよう望む。観光客増により問題となる防犯対策やトイレの整備等も必要不可欠と思慮されるので検討されたい。

●昆布養殖漁業の現状把握

町が取り組みを進めるにあたっては、昆布養殖漁業の現状を正確に把握することが重要であるが、この度の資料にも詳細が記されていないことを再度指摘しておく。

●共同利用施設の整備

漁協・養殖昆布漁業者からの強い要望を受け、共同利用施設の整備に向けた協議を進めるとしているが、現在、4つの生産部会があり、特に、福島地区が販売方法等の相違から3つに分かれている。作業効率化を進める上でも重要な課題と推察される生産部会の統一、省力化・協業化に向けてさらに努力されることを望む。



共同利用施設整備候補地（福島漁港内）



調査事件12

第3期福島町子ども・子育て支援事業計画の策定 — 2月3日調査 —

子育て支援、福島らしさと地域の声をどう生かすか

町は、第2期計画が令和6年度で終了するため、令和7年度からスタートする第3期計画の策定を進めており、委員会ではその内容を調査しました。

●子ども・子育て会議構成委員

「子ども・子育て会議」の構成委員に町内会や町内産業団体等の関係者を加え計画推進を図ることを早急に検討されたい。

●町の実態に合わせた計画策定

国が主導する計画は当町のような小規模な過疎自治体を想定していないと思われるため、小さい自治体の利点を生かし、町独自の計画策定を期待する。



●自助・共助の意識付け

本来、子育ての主体・責務は親や家族にあり、町の支援と併せて「子育て」についての認識・責任を醸成する対策が必要と思慮するので検討されたい。

調査事件13

第4期福島町地域福祉計画の策定 — 2月3日調査 —

支え合う福祉へ — 町と地域がつながる仕組みづくりを

町は、第3期計画が令和6年度で終了するため、令和7年度からスタートする第4期計画の策定を進めており、委員会ではその内容を調査しました。

●自助・共助・公助の意識付け

自助・共助の考え方が町民にはよく理解されていないことが懸念されるので、より具体的な例を示しながら理解を求めると必要があると思慮するので検討されたい。

●地域福祉計画の推進について

本計画は、行政の全ての部署に関連する広範囲な計画であり、計画の検討・推進は役場全体で行い、情報共有する必要があると思慮するので検討されたい。

社会福祉協議会については、主要な構成メンバーとして協議・連携がとれていないことが懸念される。今後は積極的に協議を行い、連携して計画推進にあたるよう望む。

●「食を営む力」の取り組み

「食を営む力」は、町民の食育推進に重要な視点であり、町全体で取り組んで行く必要があると思慮されるので、他の施策への記載も検討し、普及に努められたい。

食を営む力って？

「食」に関する知識やバランスの良い食の選択ができる力であり、健全な心身の育成につながるとされています。



調査事件 1

認定こども園福島保育所改修事業

— 4月15日調査 —

“工事中”でも、子どもたちの毎日を大切に

町は、建物の長寿命化を図るべく、大規模改修を今年度当初予算に計上している。この度、町より改修工事の内容について資料が示されたことから、委員会ではその内容を調査しました。

●効果的なエアコンの選定

職員室・準備室については窓枠エアコンを設置するとのことだが、位置的に室内が高温になることが想定されるため、環境に十分対応できる機器の選定を再検討されたい。

●設計内容の精査

近年の大型事業では、工事着工後に設計変更や事業費の補正等が行われるケースが多く見受けられる。

今回の事業では、設計内容を精査、関係者と十分協議を行い、極力設計変更等が発生しないよう施工されたい。

●屋外遊戯スペースの管理

以前から運動会等で正面入り口以外から出入りする人が見受けられる。

閉園中に子ども達が園内に入って遊ぶことも考えられるので、事故防止のためにも閉園後の対応と侵入防止対策が必要と思慮するので検討されたい。

●午睡への配慮を

工事期間中の騒音対策について、特に子どもたちの午睡中には最大の配慮が必要であり、騒音が想定される工事はできる限り休園となる土・日に施工されるよう計画調整されたい。

議会改革調査特別委員会レポート

調査事件

議会体制のあり方、議員のなり手確保対策等 議会改革

— 3月24日調査 —

町民と議会の距離を縮めるには？

「町民と議員との懇談会」「栗山町議会齊藤副議長による講演」が終了したので、今後の議員のなり手対策の進め方について委員会で検討しました。

●先進地視察

先進地視察を実施することに決定した。視察先の候補として浦幌町や芽室町、新十津川町という意見が出されたことから、各委員で候補先の情報を把握し意見を持ち寄り協議することとした。

●議員の学校

当議会で「議員の学校」を開催する事は、講師となる議員の問題等もあり難しいとの意見が出され、開催は見送ることとした。

●議会モニター導入

近隣町で実績がある議会モニターを導入すべきとの意見が多かったことから、当議会として議会モニターを導入する方向で検討することとした。しかし、導入にあたっては、諮問会議委員との兼ね合いや人数、報酬等様々な課題の整理が必要であり、先進地事例などの情報を収集し制度設計を行い出来るだけ早く導入することを確認した。

「議会」の評価

令和6年度（1年間）の活動結果



議会HP

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な40項目に区分し議会運営委員会（4月25日決定）が評価し、諮問会議で内容を検討した結果を町民に公表しております。

昨年と比べ、**研修の取り組みが1段階改善**されましたが、**団体との懇談会が1段階悪化**しました。引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」、豊かな町づくりを目指して努力を続けてまいります。

評価の分類：○＝「おおむね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達していない」 ▲＝「取組が必要」

主 要 項 目	具体的な項目	過去3年間の評価			R6 評価	要 点
		R3	R4	R5		
1. 議会の 活性化	①一般質問 (人数・項目件数)	△	○	△	△	R6年度：一般質問件数10人・11項目。前年比3人、3件の減。 1平均質問者数2.5人(27.8%) (全国6.4人(56.1%)、全道4.6人(42.5%)、渡島管内3.5人(29.5%)) より積極的な一般質問への取組が必要である。
	②質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会等での審議を活発に行っている。 引き続き質疑・意見交換内容を充実する。 常任委員会所管事務調査数27件(総務教育常任委13件、経済福祉常任委14件、平均 質疑者・回数：定例3.8人 10.0回、定例外2.2人 3.8回、委員会4.2人 17.5回、平均 意見交換者・回数：定例2.8人 7.3回、定例外0.6人 1.6回、委員会3.2人 11.7回)
	③討議・討論(本会議)	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ない。 引き続き論点・争点を明らかにした討議・討論への取組が必要。(討議：R5 ＝1件、R6＝0件、討論：R5＝1件、R6＝0件)
	④討議(委員会)	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って 活発な議員間討議を行っている。 R6開催日数：常任委員会＝17日、特別委員会＝6日
	⑤議員提案	○	○	○	○	所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されて いる。一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見についても常任委員会で検討し たが、所管調査として取組む事案はなかった。
	⑥文書質問	△	▲	▲	▲	実績：1人・1項目。これまでも質問が特定の議員に偏り、項目数も低下して いることから、政策提案等に向けた文書質問への取組が必要。(R4＝実0人、 R5＝実1人・1項目、R6＝実1人・1項目)
2. 議会の 公開度	①会議の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開。委員会もライブ中継・録画配信を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	HPで全て公開している。
	③審議前会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。(議場・HP)
	④議会経費の公開	○	○	○	○	全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・HPで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実 (ライブ中継)	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、映像配信を行っている。スマートフォンでの 視聴も可能。全道＝96議会(議会中継実施)
3. 議会の 報告度	①議会だより・速報版等 の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。R5. 8月発行分から、より詳細な情報を伝えるため記事にQRコードを添付、議会 HPとの連動も進めており、R6年度は議員のなり手募集について4回に渡り特 集ページを掲載した。全道＝単独発行125議会
	②議会HPの運用	○	○	○	○	H28年3月に議会HPをリニューアル。R5年度にはHPの反応速度を上げる 為の改修を行った。全道HP＝134議会
4. 住 民 参加度	①各種団体との懇談会の 開催(常任委員会の活動)	○	△	○	△	R6年度開催実績なし 。テーマと開催方法(住民主催等)を工夫した取組みの 検討が必要。[懇談会：R4＝0回、R5＝4回、R6＝0回]
	②町民と議員との懇談会 の開催(議会報告会)	○	○	○	○	例年通り議員を3班に分け町内会単位で実施。R6年度は、議会体制・議員の なり手募集等の特集ページを参考に、重点的に意見を聴取した。今後も懇談会 の内容・開催方法を検討する。(R5＝6日間・17会場99人、R6＝6日間・ 17会場77人) 全道＝55議会
	③参画者への対応と参加度	△	△	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (R5＝定例14人、平均3.5人 定例外16人、平均1.8人) (R6＝定例16人、平均4.0人 定例外7人、平均1.4人) 全道平均＝定例9.9人、定例外1.5人)
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会(定例)を開催している。 R6年度は、中高連携公開授業の一環として「中高生議会」を開催した。 (参画者R5＝3人、R6＝8人) 全道＝夜間議会2議会、休日議会4議会

主 要 項 目	具体的な項目	過去3年間の評価			R6 評価	要 点
		R3	R4	R5		
5. 議会の 民主度	①一般質問の改善（一問一答方式、回数・時間制限廃止）	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数・時間の制限規定を廃止している（H20）。全道＝117議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H16）。全道＝132議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
	④議会における選挙の改善（正副議長選挙での所信表明）	○	○	○	○	正副議長選出の際の所信表明を議会基本条例（H20）で規定している。
6. 議会の 監視度	①長との適正な関係の維持（議員の政治倫理に関する取り組みの経過）	○	○	○	○	議会議員の不当要求行為等防止条例を制定（H20）、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定（H30）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能の適切な遂行（けん制・批判・監視等）	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査で取りまとめた調査意見（報告書）で委員会の意向が政策に反映されている。
	④一般質問等答弁事項の追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。令和6年度は指定事項に該当する答弁がなかったため新たな追跡調査はなかった。（追跡調査件数 R4＝1件、R5＝2件、R6＝0件）
7. 議会の 専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換している。（調査件数 R5＝22件、R6＝27件）
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。令和5年度決算に基づき67件（総務教育常任委関連39件、経済福祉常任委関係28件）の事業について行政評価をした。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。継続的に見直しを行っており現在の議決対象計画等は13件となっている。
8. 事務局の 充実度	①議場等の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（R元）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。タブレット端末の導入（R3）により議案等のペーパーレス化も図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、情報・資料収集の充実、法務能力の向上などに取り組んでいる。職員体制は正職員3人、会計年度任用職員1人。
9. 適正な 議会機 能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定。令和4年度からはペーパーレス会議システムに係る費用を追加したため、令和5年度に見直している。（当初標準額＝3,184千円・R5見直し標準額＝6,148千円、R6予算5,749千円）
	③議会の自主性強化（条例等制定・改正）	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を会期（期間）とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置（議会基本条例諮問会議）	○	○	○	○	議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。諮問会議条例の改正（R4.1）；諮問委員数を5名から10名に増員。（産業・文化・スポーツ団体等の推薦、公募）
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会へのリンク等）
	⑥条例の制定・改正	○	○	○	○	・福島町議会個人情報保護条例の一部改正（12月会議） 刑法等が改正されたことに伴い関連する条項の改正を行った。 ・福島町議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正（12月、3月会議） 期末手当の算定月数を町特別職に合わせて改正、旅費宿泊料については、宿泊料が高騰し規定額では対応できなくなっていることから見直しを行った。
10. 研修活 動の充 実強化	①研修の効率的な取組み	△	○	△	○	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告により情報共有を図っている。R6年度は西部四町議員協議会の当番議会として研修会を地元開催し、秋田県の藤原町（社会福祉協議会）・東成瀬村（地域づくり事業協働組合）を研修視察。
	②視察受入れ市町村等	○	○	○	○	R6年度に受け入れた視察の数は4件で、宮崎県串間市議会、北海道共和町議会、長崎県小値賀町議会、北海道栗山町議会から、議会改革等について視察を受け入れた。（R4＝5件、R5＝5件、R6＝4件）

議会評価に対する諮問会議意見

議会運営委員会による議会評価は概ね適正であると判断するが、評価項目の1. 議会の活性度の①一般質問、⑥文書質問について評価が△▲であり、取組が必要としている点については、質問が特定の議員に偏っている傾向があるとのことから、改善にあたっては質問数より質問者数に重点を置いて取り組まれない。

評価概要

「議員活動」の「自己評価」

令和6年度分（令和6年4月～令和7年3月）



議会HP

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で20回目となります。5つの主な指針をもとに具体的に取り組んだ事項を「取組の評価」と「成果の評価」としてそれぞれ3段階で自己評価します。

評価の集計結果は下表のとおりで、取組と成果に大きな差があります。

各議員の取組が成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、1名の議員から報告がありました。

● 議員別の評価集計

議員名 項目	藤山 大		杉村志朗	
	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	3	1	1	1
△ 努力が必要	18	20	7	6
▲ さらに努力が必要	1	1	3	4
計	22	22	11	11

議員名 項目	佐藤孝男		小鹿昭義	
	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	5	4	4	1
△ 努力が必要	4	5	12	11
▲ さらに努力が必要	6	6	0	4
計	15	15	16	16

議員名 項目	平沼昌平		木村 隆		熊野茂夫	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	8	5	8	3	5	4
△ 努力が必要	8	7	3	7	2	3
▲ さらに努力が必要	3	7	0	1	0	0
計	19	19	11	11	7	7

議員名 項目	平野隆雄		溝部幸基		合 計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	14	2	9	3	57	24
△ 努力が必要	3	13	13	8	70	80
▲ さらに努力が必要	0	2	12	23	25	48
計	17	17	34	34	152	152

❗ 自己評価の指針

主要指針	評 価 の 指 針 等
1. 態 度	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度、審議の態度。
2. 監 視	一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで政策提言をしたか。
4. 政策実現	一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動 議会改革	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度、町民ニーズの把握はどうか。

※議会での態度：居眠り・私語など
審議の態度：品位の保持、審議への協力

● 議員個人としての活動

	溝部幸基
報 告 会 等 の 実 施	2
議 員 だ よ り の 発 行	—
個人ホームページの開設	○

教えて！ ぎかいのコトバ 議員活動の目標（公約）って？

議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議員活動の目標（公約）として公表しています。

今年度は、9名の議員で総数項目148項目（昨年度：9名提出152項目）となりました。

※ 個人票はP28～30に掲載しています。

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」
 ▲＝「さらに努力が必要」
 評価期間：令和6年4月～令和7年3月

■ 藤 山 大

50歳 議員歴12年 22項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	△	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
	災害の備えと整備（避難路・道路等）	△	△
	SNSの活用	△	△
	優先順位を持った財政運営の推進	△	△
財政	町立診療所健全経営推進	▲	▲
	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
経済	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	△	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	△
	B級グルメ等福島町の良さのPR強化	△	△
	SNSの活用（PR等）	△	△
	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
福祉	福島商業高校の魅力化について	○	△
	文化・伝統を後世に残すための取組（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	○	△
教育	SNSの活用	△	△
	今後の「道の駅」のあり方	△	△
その他	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	△	△
	インターネットを使つての報告（YouTube、X（Twitter）、Zoom）	△	△

■ 杉 村 志 朗

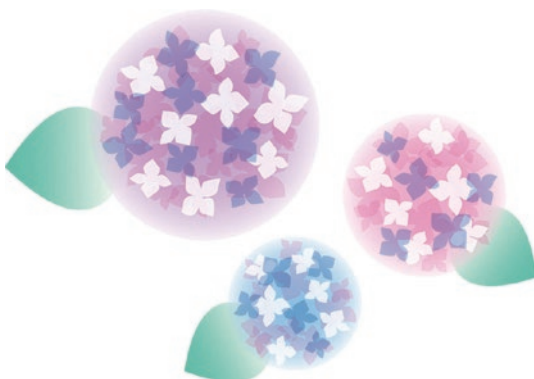
76歳 議員歴26年 11項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の更なる推進	△	△
	町立診療所健全経営の確立	▲	▲
財政	財政基金の安定活用	○	△
	各団体等の補助金、助成金の確立	△	△
経済	町内スポーツ施設利用者増の取り組みを推進	△	▲
	スルメ加工以外の二次産業の推進	△	△
福祉	社会福祉協議会の安定経営	△	△
	人口増に期待する少子化対策	▲	▲
教育	文化や伝統の継承	△	△
	冬期間のスポーツ、文化の推進	▲	▲
その他	リニューアルした道の駅の今後のあり方	△	○

■ 佐 藤 孝 男

78歳 議員歴30年 15項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	▲	▲
	大型公共施設の健全な運営を注視	▲	△
財政	財政調整基金の健全な活用	△	○
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成	▲	▲
	ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備	△	△
	陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取組推進	▲	▲
福祉	町立診療所健全運営を注視	△	▲
	予防医療の推進（がん検診向上）	▲	▲
	家庭ごみ減量化の取組推進	▲	▲
教育	青少年交流センター取組推進	○	○
	学校給食での地場産物利用強化の取組推進	○	△
その他	第二青函トンネル構想実現に向けた推進	○	△
	松前半島道路（防災道路）早期実現に向けた取組推進	○	○
	冬期防災訓練実施に向けた取り組み推進	△	△
	各種行事の積極的な参加	○	○



■ 小 鹿 昭 義

72歳 議員歴5年 16項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第二青函トンネルの構想実現	○	△
	ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言	○	△
	地域課題に対し、調査や意見を伺い、町民が安心・安全に住めるまちづくりの構築	○	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	△	▲
	経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言	△	▲
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進	△	△
	円安による物価高に対する、町民への経済支援を提言	△	△
	新卒者や町内外の求職者雇用を確保するため、企業誘致を推進	△	▲
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	△
教育	小・中学生へパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言	△	△
	グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言	△	▲
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取組む	○	○

■ 木 村 隆

45歳 議員歴18年 11項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	人口減少に伴う少子化との付き合い方	○	△
	半島振興法に伴う政策	△	▲
	防災対策と危機管理のあり方	○	○
経済	ブルーカーボンの方向性の注視	○	○
	陸上アワビ稚貝の確保に向けた取組	○	△
福祉	保育士の確保に向けた取組	△	△
	国保統一化に向けた提言	○	△
教育	部活動の地域移行に向けた取組	○	△
	青少年交流センターを中心とした高校のあり方	○	△
その他	渡島西部広域事務組合議会議員として消防、衛生の今後のあり方	○	○
	第二青函トンネル構想の機運向上政策	△	△

■ 平 沼 昌 平

69歳 議員歴20年 19項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	IT環境の整備促進と移住定住環境の整備促進	△	▲
	防災対策の対応と危機管理の熟成を提案（避難路保持、避難備蓄庫等）	○	○
	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	△	△
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	▲	▲
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言	△	▲
	財政健全化（予算審査、決算審査）に向けた取組と提言	△	△
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実	○	△
	地元企業が率先して高齢者再雇用を行う環境づくりに向けた取組と企業財政支援等検討	○	△
	気候変動から来る新たな産業創出と対応の取組	○	▲
福祉	高齢化人口に対する福祉環境の充実と介護人材の創出	○	○
	在宅介護の抜本的な取組と支援体制のあり方の提言	○	○
	ゴミ減量化に対する町民意識向上と理解・方策の提言	○	▲
教育	小中一貫教育に対する方向性と教育環境の充実	▲	▲
	小中高校生の行政・議会に対する認知度の向上と交流	▲	△
	IT環境の充実と脱炭素社会形成の理解とグローバル人材の育成	△	△
その他	議会議員の個々の議会活動の見える化と取組と今後の在り方	△	▲
	町民に対しての斬新な議会だよりの作成と議会活動報告の充実	○	○
	次期改選期に向けた新たな議員定数と報酬、なり手対策、女性議員の選出に向けての町民理解度を上げる対応	△	○
	地場産業の充実と観光事業等の取組の提言と町民対話の充実	△	△



熊 野 茂 夫

75歳 議員歴10年 7項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	地域生活環境整備への提言をいたします	○	○
財政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします	△	△
経済	昆布養殖等、水産業の発展と漁家経営安定のための提言をいたします	△	△
	農林業の発展への提言をいたします	○	△
福祉	施設介護、訪問介護のサービス安定のための提言をいたします	○	○
教育	こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします	○	○
	福島商業高等学校魅力化と存続のための活動をいたします	○	○

平 野 隆 雄

76歳 議員歴29年 17項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現推進	○	△
	福島川全体改修事業の早期実現	○	△
	町内景気対策と交流人口増	△	△
財政	財政調整基金の有効活用	○	△
	コロナ後の町立診療所の健全経営	○	△
	町内会にあった町内会館の新築・解体の早期実現へ	○	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○
	えぞあわび（養殖）生産増へ向けた提言	△	▲
	スルメ以外の商品開発推進	△	▲
福祉	高齢化と人口減少に対する町づくりの提言	○	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進へ向けた提言	○	△
教育	少子化の中の教育行政推進	○	△
	福島商業高等学校入学増の推進	○	○
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進	○	△
その他	吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進	○	△
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進	○	△
	両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPRの推進	○	△

溝 部 幸 基

77歳 議員歴44年 34項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）	△	▲
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	▲	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	▲
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究	△	▲
財政	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	各団体等への補助金、事業助成金等のあり方	▲	▲
経済	起業に挑戦できる支援システムの創設	▲	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）	▲	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	▲	▲
	産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修	▲	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査	▲	▲
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減	△	▲
	公立診療所のあり方に関する調査研修	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）	○	▲
	労働者協同組合の調査研究（活動事例、行政連携等）	○	▲
教育	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修	○	▲
	小中学校一貫教育、コミュニティスクールの調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集・研修）	△	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）	△	△
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	○	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ	○	○
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○

「議員」の目標（公約）

目標期間：令和7年4月～令和8年3月

今年1年

こんな事を頑張ります！

藤 山 大

50歳 議員歴12年 19項目

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
	災害の備えと整備（避難路・道路等）
財政	優先順位を持った財政運営の推進
	町立診療所健全経営推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	商業高等学校の魅力化について
	文化・伝統を後世に残すための取組（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
	福島の宝である子供の為の遊具点検・整備・補修
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）
	SNSの活用（PR等）

熊 野 茂 夫

75歳 議員歴10年 9項目

分野	具体的な目標項目
行政	地域生活環境整備への提言をいたします。
	地域防災計画、津波避難計画をすすめます。
財政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします。
経済	水産業の発展と漁家経営安定のための提言をいたします。
	農林業発展への提言をいたします。
福祉	施設介護・訪問介護サービス安定のための提言をいたします。
	社会福祉協議会経営安定のための活動をいたします。
教育	こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします。
	商業高等学校魅力化と存続のための活動をいたします。

杉 村 志 朗

76歳 議員歴26年 11項目

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想の活動推進
	防災対策（避難路の確保）
財政	子育て環境の改善努力
	養殖アワビ飼育の安定営業
	町立診療所の早期黒字化の努力
経済	農林水産業の担い手支援
	高齢者への財政支援
福祉	高齢者人口に対する環境整備
教育	少子化による不安の解消と生徒確保の努力
	小中高一貫性に向けた努力推進
その他	周辺地域よりも多い観光客誘致に努力

佐 藤 孝 男

78歳 議員歴30年 13項目

分野	具体的な目標項目
行政	若者の定住と雇用の場の推進
	大型公共施設の健全な運営を注視
財政	各基金の健全な活用
経済	ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備
	陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取組の推進と、健全な運営を注視
	一次産業の振興と新規就業者の育成
福祉	町立診療所の健全な運営を注視
	家庭ゴミ減量化の取組推進
教育	青少年交流センターの健全な運営を注視
	学校給食での地場産物の利用促進
その他	第2青函トンネル構想実現に向けた活動を推進
	防災道路の早期実現に向けた取組推進
	各種行事の積極的な参加

小 鹿 昭 義

72歳 議員歴5年 16項目

分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネルの構想実現
	ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言
	津波対策・防災対策の提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進
	経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進
	物価高による、景気対策の提言
	新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致を推進
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進
	お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	小・中学生へパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン（インターネット）授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言
	グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
	町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取り組む

平 沼 昌 平

69歳 議員歴20年 18項目

分野	具体的な目標項目
行政	町内の DX 環境の整備と施設整備について提言
	海溝型地震に向けての津波対策と防災意識向上、自助・互助・共助・公助の在り方の提言
	物価高騰に対する町民サービスの充実について提言
財政	財政健全化を柱とした計画的なインフラ整備について提言
	出産費用の無償化と出産後1年間の生活費補助の提言
経済	農林水産業の担い手確保と雇用環境充実に向けた提言
	将来を見据えた養殖昆布作業省力化に向けた提言
	気候変動に伴う新たな産業の創出と模索について提言
福祉	物価高騰に対する福祉灯油券の配布と拡充について提言
	ゴミ減量化と資源ゴミの町民の理解と意識の向上に努める
	高齢者住宅の拡充とコンパクトシティの在り方について提言
教育	町関連各同系列の団体の集約と会議内容の集約等提言
	高校卒業生の町内就職の財政支援と環境整備の提言
	中・高校生に対しての議会との接点と交流促進の提言
その他	議会議員の成り手対策と定数の在り方について提言
	議会活動に対する町民理解度向上のため、懇談の機会を拡充する
	議会だよりの充実と町民に対する積極的な議会活動の周知
	議会開催時の参画者に対する声掛けと参加者の拡充

「町民森づくり植樹祭」 議員も参加しました

5月10日(土)、桧倉地区にて開催された町民森づくり植樹祭（令和7年度春のお魚殖やす植樹会）に議員4名（佐藤議員、小鹿議員、平沼議員、熊野議員）が参加しました。



植樹祭での集合写真（議員は中央付近）



作業の様子

平 野 隆 雄

76歳 議員歴29年 15項目

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想実現の推進
	ふるさと応援基金の有効活用への提言
財政	町立診療所の健全経営の実現
	旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現
経済	養殖コンブ製品増の推進
	スルメ以外の商品開発推進
	エゾアワビの稚貝確保に向けた施策を全力で推進
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくり提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進へ向けた提言
教育	少子化の中の教育行政推進
	縄文土器等による町づくり提言
	青少年交流センターを活用した取組みへの提言
その他	吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進
	両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPR推進

木 村 隆

45歳 議員歴18年 13項目

分野	具体的な目標項目
行政	新半島振興法に伴う防災政策のあり方
	津波防災政策の提言
	解体予定の公共施設のあり方
経済	養殖あわび施策のこれから
	雇用の場の創出
	脱炭素政策のあり方
福祉	保育園改修の注視
教育	高校存続のこれから
	新しいiPadの利活用
	義務教育学校への走り出し
その他	第二青函トンネル構想の推進
	松前半島防災道路（福島～白神）の注視
	広域議員として消防、衛生への政策質問

溝 部 幸 基

77歳 議員歴44年 34項目

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）
	過疎自治体における政策推進のあり方（住宅セーフティネット、居住支援等）
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究
	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
財政	各団体等への補助金、事業助成金等の在り方
	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修
経済	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修
	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査
	「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減
	公立診療所の在り方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割・ケアラー支援制度等）
福祉	労働者協同組合に関する調査研究（活動事例、行政連携等）
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修
	小中学校一貫教育、コミュニティスクールの調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集・研修）
教育	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
その他	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）
	各種行事への積極的な参加

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の1月22日から5月19日までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	藤 山	杉 村	佐 藤	小 鹿	平 沼	木 村	熊 野	平 野	溝 部
1月22日	西部四町議会議員協議会理事会	―	―	―	―	○	―	―	○	○
23日	渡島町村議会議長会定期総会	―	―	―	―	―	―	―	―	○
29日	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会	―	―	―	―	○	―	―	○	―
	町内会連合会総会	―	―	―	―	―	―	―	―	○
30日	経済福祉常任委員会（岩部地区活性化等）	◎	―	○	○	○	―	◎	○	○
31日	建設協会新年交礼会	○	―	―	○	○	―	○	○	○
2月2日	逢坂誠二2025年新春のつどい	―	―	―	―	―	―	―	―	○
3日	経済福祉常任委員会（10:00、子ども子育て計画策定外）	―	―	○	○	○	―	◎	○	○
	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6日	木古内町議会主催議員研修会	―	―	―	―	○	―	○	―	―
	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8日	函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会（GXシンポジウム）	○	―	―	―	―	―	―	―	○
10日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	総務教育常任委員会（人口ビジョン策定等）	○	×	◎	◎	◎	○	×	○	○
15日	向山じゅん新春のつどい	―	―	―	―	―	―	―	―	○
18日	経済福祉常任委員会手交	―	―	○	―	―	―	―	○	○
	福島町農業協同組合第73回通常総会	―	―	○	―	―	―	―	―	○
	西部四町議会議員協議会・研修会	○	×	○	○	○	○	×	○	○
22日	高橋はるみ令和6年度国政報告会	―	―	―	―	―	―	―	―	○
25日	総務教育常任委員会（脱炭素社会の実現等）	○	○	―	◎	◎	○	○	○	○
26日	自衛隊入隊激励会	―	―	―	―	―	―	―	―	○
27日	スポーツ・文化賞表彰式	―	―	○	○	―	―	―	○	○
28日	渡島西部広域事務組合第1回定例会	―	―	○	―	―	○	―	―	○
3月1日	福島商業高等学校卒業式	○	―	○	―	○	○	―	○	○
3日	正副議長議案説明（3月会議）	―	―	―	―	―	―	―	○	○
4日	一般質問通告	○	―	―	―	○	○	―	―	○
	議会運営委員会（3月会議の運営）	○	―	○	―	×	○	○	職	職
7日	経済福祉常任委員会（3月会議後の調査）	―	―	○	○	○	―	―	○	○
	議員勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11日	定例会3月会議・夜間議会（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	藤 山	杉 村	佐 藤	小 鹿	平 沼	木 村	熊 野	平 野	溝 部
13日	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
	定例会 3 月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（3 月会議の反省）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
14日	福島中学校卒業式	○	－	○	○	－	○	－	－	○
18日	福島小学校卒業式	－	－	○	－	－	○	－	○	○
19日	福島幼稚園卒園式	－	－	－	－	－	－	－	－	○
24日	議会運営委員会（3 月第 2 回会議の運営）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
	定例会 3 月第 2 回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会改革調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
	議会運営委員会（3 月第 2 回会議の反省）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
25日	福島保育所卒園式	－	－	－	○	－	○	－	－	○
31日	福島吉岡漁業協同組合総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	新潮学舎増築棟完成記念式典	－	○	○	－	○	－	○	○	○
4月4日	福島保育所入園式	○	－	○	○	－	○	－	○	○
7日	吉岡小学校入学式	－	－	－	○	○	○	－	－	－
	福島小学校入学式	○	－	○	－	－	－	－	○	○
	福島中学校入学式	○	－	○	○	○	○	－	○	○
	春の交通安全祈願祭・町民大会	－	－	－	－	○	－	－	－	○
8日	福島商業高等学校入学式	○	－	○	－	○	○	－	○	○
10日	福島幼稚園入園式	○	－	○	－	－	○	－	－	○
	道南林活役員会	－	－	×	－	－	－	○	－	－
14日	林野火災予消防対策協議会	－	－	○	－	○	－	○	－	○
	森づくり協議会	－	－	○	－	－	－	－	－	－
15日	経済福祉常任委員会（保育所改修）	◎	－	○	○	×	－	◎	○	○
17日	議会運営委員会（4 月会議の運営）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
	定例会 4 月会議	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（4 月会議の反省）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
	商工会青年部総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
20－21日	北海道福島会	○	○	○	○	○	○	○	－	○
23日	道南林活総会・研修会	○	－	○	－	－	－	○	－	－
24日	経済福祉常任委員会手交	－	－	○	－	－	－	－	○	○
25日	議会運営委員会（議会評価）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
	西部四町議会議員連絡協議会第 1 回理事会	○	－	－	－	○	－	－	○	○
5月10日	町民植樹祭	－	－	○	○	○	－	○	－	－
11日	女だけの相撲大会	－	－	－	－	○	－	－	○	○
17日	西部四町議会議員連絡協議会スポーツ大会	○	○	○	×	○	○	○	○	○
19日	議会運営委員会（5 月会議の運営）	○	－	○	－	○	○	○	職	職
	定例会 5 月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（5 月会議の反省、議会だより）	○	－	○	－	○	○	○	職	職

町民の声

福島町の今後



成田えり子

昨年末、東京から帰ってきて人口の減少や少子高齢化をとて実感しております。

小さな町でも私で役に立てることがあるならと小さな事業も始めました。

先日、議員さんからご招待を受けて議会に足を運んでみたところ、子は宝との言葉通り、子供に対する取り組みはとても良いことだと思いましたし、私も何かお役に立てればと考えております。

子供のことは大事ですが、それには町の財源も必要ではないかと思えます。

物づくりにには限界もあるため、現在できるところから、町の発展を目指していけないものかと思っています。福島町の自然を深掘りしてみてもいいかもしれません。

議員の雑感

「米」不足について



総務教育常任委員
熊野 茂夫

昨年8月から始まった令和の米不足問題。政府は新米が出れば価格の上昇も落ち着くとし、備蓄米の放出をためらいましたが、結果として、本年3月から備蓄米を放出するも、価格の上昇は止まらず、小売価格最高値が続いております。

冷戦終結後、世界情勢が最も不安定な状態といわれる今、私たちの主食である米の生産・供給がこのような状況で良いのだろうか。高齢化などによる生産者の減少、天候不順など、米の増産は容易ではなく、不足を輸入に頼るとその確保は増々不安定になります。1年や2年の不作や、国際情勢の変化に影響されることなく、米が安定確保できるように農業政策を見直し、米増産へ向けた中長期的作付計画の作成と、これを機に米の流通についても見直すべきと思います。

主な会議・行事予定

6月

● 経済福祉常任委員会

9日(月) 午前10時～ 委員会室

● 総務教育常任委員会

9日(月) 午前11時～ 委員会室

● 北海道議長会定期総会

10日(火) 札幌市

● 一般質問通告

12日(木) 午前10時～午後2時

● 議会運営委員会(6月会議の運営)

12日(木) 午後3時～ 委員会室

● 議員勉強会

17日(火) 午後1時30分～ 議員控室

● 定例会6月会議

19日(木)～20日(金) 議会議場

午前10時～

● 渡島開発期成会札幌要望

26日(木) 札幌市

7月

● 全道町村議員研修会

8日(火) 札幌市

● 議会運営委員会(議会だより)

18日(金) 午後1時30分～ 議員控室

● 西部四町議員協議会視察研修

28日(月)～30日(水) 赤井川村 ほか

令和6年度福島町表彰式 功勞表彰

1月6日、新年交礼会において、藤山大議員が町より功勞表彰を受けました。(平成24年から12年以上にわたり、町議会議員として地方行政の振興に寄与したことによる。)

藤山大議員



議会への 意見・質問 フォーム開設！

💬 どんな意見を送ればいいの？

- ・ 議会や議員に聞いてみたいこと
 - ・ 町の暮らしで感じていること
 - ・ 改善してほしいこと など
- ※ 匿名での送信も可能です。

💬 ご意見への対応方法

送信時に、次の4つから希望する対応方法を選べます：

- ① 意見を送るだけ（個別の返信なし）
- ② 議会だよりやHPで回答を見たい
- ③ メールで回答がほしい（連絡先が必要）
- ④ 直接話をしたい（後日調整）

📱 アクセス方法

スマートフォンから簡単アクセス！
この二次元バーコードを読み込むだけ。

こちらの二次元
バーコード
はご利用いた
だけません

📱 ◀ ちょっとしたスキマ時間に、
ポチッとどうぞ。

⚠️ ご注意

- ・ 内容によっては回答に時間がかかる場合があります。
- ・ 誹謗中傷や営利目的の投稿はご遠慮ください。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」

議会だより 表紙写真 大募集！

📷 募集内容

対象：福島町内で撮影した写真
(四季の風景や行事、町民の活動など)
※ 人物が写っている場合は、必ず本人の
同意を得てください

目的：「福島町議会だより」の表紙に掲載
(採用時には撮影者名を記載予定)

📷 応募方法

対象：デジタルデータ
(J P E G形式/高解像度推奨)

方法：メールまたはU S B等で議会事務局
へ提出
※ 紙での提出（プリント写真）を希望さ
れる場合は、事務局にご相談ください

📷 締切

8月号掲載分…令和7年7月4日(金)

12月号掲載分…令和7年10月31日(金)

2月号掲載分…令和8年1月6日(火)

⚠️ 注意点

- ・ ご自身が撮影した未発表の写真に限ります。
- ・ 写真はレイアウト調整のため、一部トリミング等を行う場合があります。
- ・ 議会だより表紙として議会HPに掲載されます。
- ・ 写真は議会運営委員会で選考いたします。

編集後記

新緑が雨に濡れて一層
鮮やかに映る季節となり
ました。

これまで、町民と議員
の懇談会で様々な意見を
伺ってきましたが、参加
が難しい方もいるため、
スマホから気軽に声を届
けられる意見・質問フォー
ムを設置しました。あわ
せて表紙写真の募集も開
始しています。

皆さんの声や一枚の写
真がこれからの議会だよ
りを形づくります。日々
の気づきや思いをぜひお
気軽にお寄せください。
皆さんのご参加を心から
お待ちしております。

8月発行の「議会だよりふ
くしま」では、定例会6月会
議を中心に紹介する予定です。